

報道関係者各位

2024年9月6日

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

<太陽光 PPA 開発実績 3年連続 国内 No.1 (※1)>

アイ・グリッド・ソリューションズ 公式サービスサイトを公開 再エネ自給率最大化と経済合理性を両立させる GX ソリューションやお役立ち情報等を網羅

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）は、取り扱い GX ソリューションおよび脱炭素化お役立ち最新情報等を紹介する公式サービスサイト（以下、サービスサイト）を公開いたしました。

<https://gx.igrid.co.jp/>

■ サービスサイト開設の背景

近年、エネルギー自給率の向上、気候変動対策の観点から、再生可能エネルギーの導入促進が注目される一方で、電力料金の高騰や DX 化の進展など、企業や自治体を取り巻くエネルギーの状況には、めまぐるしい変化が訪れています。それに伴い、課題解決のための資料入手、セミナーやイベントへの参加など、オンラインを起点とした情報収集は、より一層重要なものとなってきています。

そのような中で、「余剰電力循環スキーム (※2)」など、脱炭素推進とエネルギー調達の安定化を統合的に支援するアイ・グリッドならではの多様な GX ソリューションを、より広く知ってもらい、ご活用いただくことで、みなさまの脱炭素施策による経営の安定化や差別化、再エネを増やすことによる地域貢献等に寄与したいと考え、開設する運びとなりました。

■ サービスサイトの特長

1. 再エネ自給率を最大化する4つのサービスの特長やメリットをわかりやすく解説

The image shows four service cards from R.E.A.L. (New Energy Platform):

- 太陽光オンサイトPPA**: PPA契約実績3年連続、国内No.1*。アイ・グリッドが屋根上やカーポートへの太陽光パネルの設置・保守を担うので、初期投資不要です。毎月消費した電力のみお支払いいただきます。
- 蓄電池**: 蓄電池を太陽光発電と併用することで、売電によって再エネを夜間や悪天候時にも利用することが可能になります。また電力のピークカット機能や、メンテナンスフリーな非常用電源として活用できます。
- AIプラットフォーム**: 気象状況に基づく発電量予測と、施設の電力需要予測から、翌日の余剰電力量を30分毎に精度に算出します。施設で消費しきれない余剰電力は、自動制御で蓄電池や他施設等へ分配されます。
- EV急速充電**: アイ・グリッドならではの余剰電力循環スキームにより、全国各地の余った再エネでEVを急速充電。料金優待と差別化です。顧客の来店動機を高めます。初期費用・維持費用から、売電料金による収益も見込めます。

太陽光オンサイト PPA、蓄電池、R.E.A.L. New Energy Platform (AI プラットフォーム)、EV 急速充電など、アイ・グリッドの GX ソリューションについて、それぞれの特徴や導入メリットを紹介。さらに詳細を知りたい方は、資料入手や無料相談をすることができるようになっています。

2. 導入事例やビジネスパーソン必読の脱炭素入門白書など、多数のお役立ち情報を紹介

アイ・グリッドのお役立ち資料ラインナップ

運用、導入に関するお役立ち資料をダウンロードできます。
必要な資料にチェックを入れ、ページのお申し込みフォームへお進みください。

The image shows three document download cards:

- GXソリューション**: 初期投資も維持管理も不要！ 脱炭素と、電力料金の安定化を叶えることで経営基盤を強固にする施策です。
- 脱炭素入門白書**: そもそも、なぜ企業に脱炭素が必要なのか？ この疑問を解決することで、自社で取り組むべき脱炭素指針が見えてきます。
- 脱炭素補助金一覧**: 全国ページの大ボリュームで、今すぐ使える数億円規模の補助金から、地方自治体の補助金まで網羅的にご紹介いたします。

流通小売業や物流業など、GX ソリューションを導入いただいた企業さまの実体験にもとづいたインタビューや、国内外から集めた最新の気候科学の研究データなど、実態に即したリアルな情報を多数紹介しています。

3. 脱炭素補助金情報、イベント・セミナー案内など、最新情報を発信

The image shows information cards for subsidies and events:

- 最新補助金情報**: 2024年度に、制度・小売・製造業等7分野を対象に施行される国交省・環境省・東京府・地方自治体等が交付しているGX補助金情報もまとめています。補助金の活用により、電力単価をより安価に抑えることが可能です。
- 脱炭素に関する最新動向**: グリラボはアイ・グリッドが運営するウェブメディアです。国交省・環境省・東京府・地方自治体等が交付しているGX補助金情報もまとめています。補助金などの視点から選り分けた記事の最新情報が満載です。
- イベント・セミナー**:
 - 10.23 WED - 10.25 FRI @ NAGOYA: 【名古屋】スマート物流EXPO
 - 10.16 WED - 10.18 FRI @ FUKUOKA: 【福岡】モノづくりフェア
 - 9.10 TUE - 9.13 FRI @ TOKYO: 【東京】国際物流総合展

脱炭素や GX に関する情報収集をしている方に向けて、2024 年度に脱炭素経営施策に活用できる国交省・環境省・東京都・地方自治体等が交付している GX 補助金情報や、イベント・セミナーのご案内など、発信しています。

■ 今後の展開

アイ・グリッドは、みなさまのニーズにお応えする GX ソリューション開発やサービスの提供に努め、サービスサイトを通じて、それらの最新情報をお届けしてまいります。

(※1) 富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査 2024 第三者所有モデル (PPA、リース)・非住宅 (10kW 以上)・2023 年度見込。VPP Japan はアイ・グリッド・ソリューションズに吸収合併 (2024 年 6 月 29 日付)

次の 2 調査でもシェア No1 を獲得。富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査 2022 第三者所有モデル (PPA、リース) 部門、非住宅(10kW 以上)・2021 年度実績・富士経済_2023 年度 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望 第三者所有モデル (PPA、リース) 部門、非住宅(10kW 以上)・2022 年度実績

(※2) 余剰電力循環スキームとは AI 技術を駆使した独自の再エネプラットフォーム「R.E.A.L. New Energy Platform®」を用いて余剰電力を予測し、蓄電したり他施設に融通したり、余剰分の電力を活用できるスキームです。電力を余らせるリスクを軽減することで、施設の屋根ポテンシャルを最大限に活かす太陽光発電開発を実現。効率的に再エネ自給率を高めることができます。

<株式会社アイ・グリッド・ソリューションズについて>

アイ・グリッドは、分散電源から生まれる再エネをフィジカル×デジタルの融合で集約・循環させ、日本各地の GX を推進するプラットフォーマーです。企業や自治体の再エネ自給率を最大化する GX ソリューション事業、余剰再エネを循環・供給するエナジートレーディング事業を営み、PPA サービスでは国内 No.1 の開発実績があります。

「変化より、はやく」をスローガンに、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現を目指していきます。

(会社概要) -----

社名：株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒102-0083 東京都千代田区麴町三丁目 7 番地 4

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：6,530 百万円 (2024 年 6 月末時点) ※資本剰余金含む

従業員：120 名

設立：2004 年 2 月

受賞歴：環境省 第 9 回グッドライフアワード環境大臣賞 最優秀賞受賞歴など

公式コーポレートサイト：<https://www.igrid.co.jp/>

公式サービスサイト：<https://gx.igrid.co.jp/>

オウンドメディア「グリラボ」：<https://gurilabo.igrid.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

担当：渡辺・河村 TEL：080-2458-2958 (渡辺) mail：pr@igrid.co.jp